

## ARTISTS

### FLUTE

吉長 沙仁子



岡山県玉野市出身。  
3歳よりピアノとエレキトーンを、12歳よりフルートを始める。  
2005年より熊瀬好氏に師事。  
中学3年時、第13回フルートコンヴェンションアンサンブル部門にて銀賞を受賞。  
2008年、岡山学芸館高等学校へ音楽特待生として進学し、第58回全日本吹奏楽コンクール全国大会に出場、銀賞を受賞。海外研修での演奏会にも参加する。  
2011年、龍谷大学へ音楽特別推薦にて進学。在学中、全日本吹奏楽コンクール全国大会に毎年出場し、いずれも銀賞を受賞。  
卒業年度の定期演奏会では《吹奏楽のためのラプソディー》のソリストを務める。大学卒業後は岡山市消防音楽隊に4年間所属。式典、コンサート、地域イベントなど幅広い演奏活動を通じ、地域に根ざした音楽文化の発展に携わる。  
これまでにフルートを熊瀬好氏、中村めぐみ氏、竹林秀憲氏の各氏に師事。現在、フルートの会会員。  
フルートオーケストラ《セレーナ》メンバーとしても活動している。また演奏活動の傍らデザインワークにも携わり、本演奏会における広報物（チラシ・プログラム等）の制作・デザインも自ら手がけている。  
デザイン分野では、Instagramにてフォロワー3,000人以上を有するアカウントを運営。

### CLARINET

奥山 芳弘



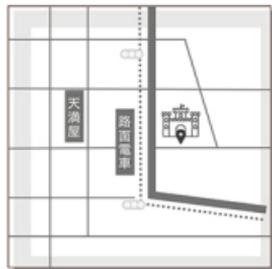
岡山県岡山市出身。  
岡山学芸館高等学校へ進学し第59回全日本吹奏楽コンクール全国大会にて金賞を受賞。相模大学音楽学部に進学し、管楽器専攻を首席で卒業。同大学専攻科課程を修了し、卒業演奏会、関西新人演奏会等に出演。在学中には梅田俊明指揮、相愛オーケストラと協奏曲を共演する。その後渡米し、ルーズヴェルト大学修士課程を修了。在学中、CCPA室内楽団と協奏曲を共演。  
2023年から2024年にかけては、シカゴ・シビック・オーケストラ アソシエイトメンバー、ニューワールド・シンフォニー サブメンバーとして活動。これまでに第45回山陽学生音楽コンクール第1位、第27回中国ユース音楽コンクール最優秀賞、第26回KOBEO国際音楽コンクール優秀賞および神戸新聞社賞、第24回松方ホール音楽賞 奨励賞（木管部門最高位）、第10回日本クラリネットアンサンブルコンクール第2位および協賛三社賞など、多数のコンクールで入賞・受賞。  
また、2023年に米国 Aeolian Classics Emerging Artist Award を受賞。2024年には、同レーベルより自身初のアルバムをリリース。平成26～28年度 青山附属奨学生。  
現在は日本ウィンドアンサンブルコンサートマスターを務める傍ら、関西・岡山を中心にオーケストラ、室内楽など幅広く活動。後進の指導にも力を注いでいる。  
これまでに芦田修次、金井信之、ブルックス・トーン、ジョン・ブルース・イェウ、テレサ・レイリーの各氏に師事。

岡山県倉敷市真備町出身。  
倉敷育陵高等学校卒業後、大阪芸術大学にて特待生として進学。同大学を卒業後、同大学大学院を修了。  
在学中、交換留学生としてウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。また、学内選抜生として、ペーゼンドルフナー・インベリアルを使用したリサイタルを開催。帰国後は、岡山および大阪にてリサイタルを開催するほか、延原武春指揮、テレマン室内オーケストラと共演。  
2018年より大阪市福島区において、ペーゼンドルフナー・インベリアルを使用したリサイタルを継続開催。高い評価を受け、2026年に第11回目を迎える。  
また、出身地である倉敷市真備町では、地域に根ざした音楽活動にも積極的に取り組んでいる。令和2年度 倉敷市文化進奨奨励賞受賞。  
これまでにピアノを岡録、日高七重、荒憲一、Y.イェラチェックの各氏に、室内楽を M.フェルナンデス氏に師事。  
岡山県演奏家協会、倉敷音楽協会 各会員。



PIANO 橋本 里香

## ACCESS



ルネスホール

### JR・路面電車の場合

JR岡山駅より市内電車（岡山電気軌道）「東山行き」で約7分「県庁通り」電停下車すぐ

### バスの場合

天満屋バスステーションより徒歩約3分

### お車の場合

駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください